

整理番号 01560

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Glycine グリシン

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社
住所 〒105-0014
東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号
住友不動産芝ビル 4 号館
担当 SDS 担当者
電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801
会社 LECO Corporation
住所 3000 Lakeview
St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

製造者情報

推奨用途

分析試験用

使用上の制限

推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない

ラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

注意書き： 【安全対策】 産業衛生に気を配る

【応急処置】 取り扱った後、手を洗うこと

【保管】 避けるべき物質の近くに保管しないこと

【廃棄】 内容物及び残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学名

グリシン

化学式又は構造式

C₂H₅NO₂

グリシン P/N: 502-211 502-911

官報公示整理番号	化審法	9-77
	安衛法	非該当
	PRTR 法	非該当
	毒劇法	非該当
C A S No.		56-40-6

4.応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のところへ移動させる。必要に応じて酸素吸入または人工呼吸を行う。
皮膚に付いた場合	石けんと水で洗い流す。刺激が生じ、持続する場合は医師の診察を受ける。
眼に入った場合	予防措置として水で洗眼する。刺激が生じ、持続する場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	十分に水で洗浄させる。意識のない人、またはけいれんを起こしている人には、口から何も与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候	入手不可

5.火災時の措置

消火剤	二酸化炭素 (CO ₂)、水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	窒素酸化物および炭素酸化物を発生するおそれがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
消火活動に関する指示	危険を伴わない場合は、火災区域から容器を移動すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。漏出した物質から発生する粉じんを吸入しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉じんの発生を避ける。漏出物は掃き取るか、または真空吸引により回収し、適切な容器に入れて廃棄する
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	粉じんが発生する場所では適切な局所排気装置を設ける。適切な
----------	-------------------------------

安全な保管条件

保護具を着用する。良好な作業衛生管理を実施する。
混触危険物質から離して保管する（SDS 第 10 項参照）。乾燥した場所に保管すること。容器は密閉し、換気の良い場所で保管すること。

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)	PEL、TLV、その他の推奨ばく露限界値は設定されていない。
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を確保すること。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	適切な保護衣を着用する。
手の保護	適切な保護手袋を着用すること。適切な手袋については手袋供給業者の推奨に従うこと。
呼吸器の保護	換気が十分でない場合、適切な呼吸器を使用する。
熱的危険	必要に応じて、適切な耐熱保護衣を着用すること。
一般的な衛生対策	取扱い後および飲食または喫煙の前には手洗いを行うなど、良好な個人衛生管理を徹底すること。汚染物質を除去するため、作業着および保護具は定期的に洗浄すること。

9.物理/化学的性質

物理状態	
形状	固体 結晶
色	白色
臭い	入手不可
融点・凝固点	240℃ 推定値
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可

n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可
その他の情報	

かさ密度	約 1000 kg/m ³ (推定値)
分子式	C ₂ H ₅ NO ₂
分子量	75.07 g/mol

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	入手不可
避けるべき条件	混触危険物質との接触を避けること。
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	入手不可

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	吸入による有害影響は予想されない。
皮膚	皮膚接触による有害性は予期されない。
眼	眼との直接接触により、一時的な刺激を生じるおそれがある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合の危険性は低いと考えられる。
物理的、化学的、有害性特性に	咳を生じることがある。
関連した症状	
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	入手不可
生殖毒性	入手不可

特定標的臓器毒性（単回暴露）	入手不可
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性	入手不可
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	入手不可
土壌中の移動性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	適用されるすべての法令および規制に従って廃棄すること。
地域の廃棄規制	適用されるすべての法令および規制に従って廃棄すること。
有害廃棄物コード	使用者、製造者及び廃棄物処理業者との協議により決定する。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器は、リサイクルまたは廃棄のため、認可を受けた廃棄物処理施設へ搬入すること。

14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

該当しない

16.その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(031417)	：LECO Corporation
	JIS Z7252 (2025) GHS に基づく化学品の分類方法	
	JIS Z7253 (2025) GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	：丸善

グリシン P/N: 502-211 502-911

職場のあんぜんサイト : 厚生労働省

NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

NITE-Gmiccs 混合物分類判定システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：令和 8 年 8 月 10 日

改訂：—

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。